

大阪万博の跡地に

## 海遊館がプロデュースした『ニフレル、NIFREL』誕生!!!

美術館？水族館？博物館？？？

昨年の11月に日本最大級の複合施設「エキスポシティ」が完成しました。場所は大阪市の北側の吹田市で1970年に開催された万国博覧会の跡地です。店舗数300を超えるショッピング施設「ららぽーと」を中心に、8種類のエンターメント施設が敷地内にあるという巨大な施設で、中でも「ニフレル、NIFREL」という・海遊館プロデュースの美術館のような水族館のようなミュージアムのような・・・が評判らしいとのこと、いまだ衰えを知らぬ好奇心まんまんの大阪のおじんパワー全開で早速行ってまいりました。



万博公園駅を降りるとすぐ左手にかの有名な、70年万博のシンボル太陽の塔が見えてきます。万博の跡地の公園は、人工の森林になっており、野生の狸が住み着いているそうです。



右のほうには今回の目的地エキスポシティの建物群がすぐそこに見えます。



これが今回の「ニフレル、NIFREL」の建物、外からでは何の建物かはわかりません。因みに後に見えるクレーンは、高さ 120m を越える大観覧車を製作中のもの。4 月には完成予定。とりあえず 1900 円払っていざ入場ですが、小学生の団体と一緒に、やかましくて閉口しました。



展示はこんな感じで、各々のテーマを際立たせる工夫が凝らされている。ここは‘色にふれる’ゾーンなので色を見せる展示となっている。



いろにふれるゾーン



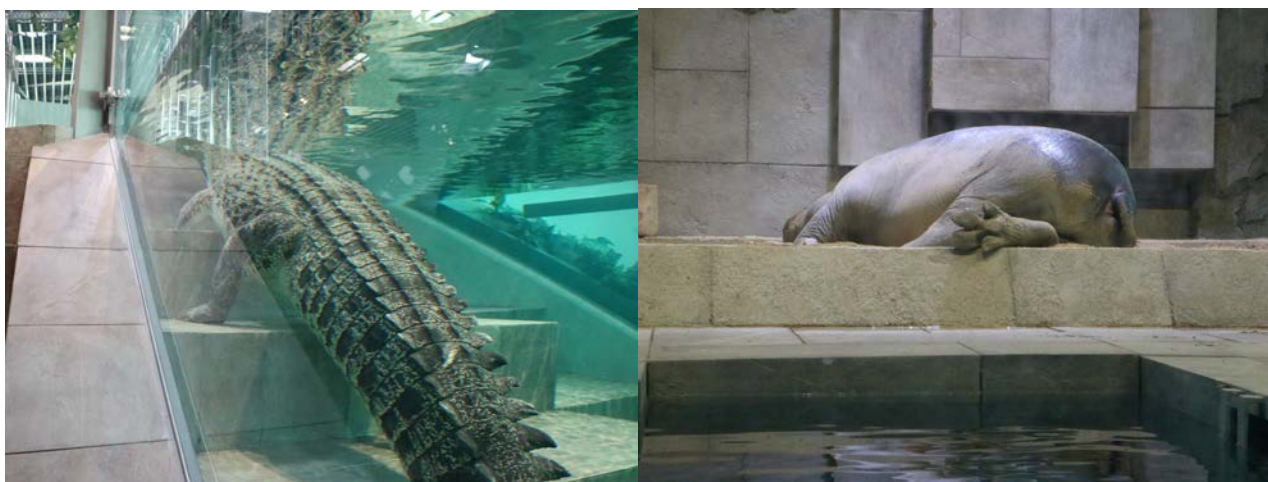
わぎにふれるゾーン



すがたにふれるゾーン







みずべにふれるゾーン



うごきにふれるゾーン

とにかく動物との距離が近く、見たこともないような角度から見ることも出来ます。狙いは動物たちと魂で触れ合っほしいというのがコンセプトのようです。命と命との距離感や、ふれあいの大切さはわれわれの仕事と一脈通じるものがあるように思いました。それにしても動物たちも、距離が近いだけにお疲れの様子でした。



こんなものもありますが、店舗の数は 300 以上とショッピングマニアも十分満足でき、レストランやフードコートも充実、シネマコンプレックスまであり、ひまとお金があれば一日中過ごせます。



また駐車場の隣には今年2月に出来た 国際 (FIFA) 規格のサッカースタジアムがあります。いわずと知れたガンバ大阪の根城です。



万博公園は万国博が終わって46年、植栽した樹木も成長し立派な森林公園となっています。また日本庭園もあり春から秋にかけて家族ずれでにぎわいます。森林浴には最適です。余裕があれば是非覗いてやってください。

アクセス:大阪駅からでは地下鉄御堂筋線で千里中央、モノレールに乗り換え2つ目の万博公園駅へというルートが一般的(約40分ぐらい)。結構接続がありますので各自工夫してください。

ほなら大阪で待ってまっせ!

